

平成22年度

”大雪・富良野ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:大雪・富良野ルート 代表 山崎 博幸						2011/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	毎年、実施している取り組みを継続して行うことが出来ており、継続的に行うことで参加者の増加や意識づくりが進んできている。 具体の取り組みを通して、景観の重要性を認識することが出来、参加者には意識の醸成が図れている。
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする							
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	2	道路付属施設の現地調査に協力	主催:旭川開発建設部 参加:運営委員会	11月・3月	協力:2名		
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			新たな活動については、不足しているところもあるが、景観の保全については、活動の継続により保全も継続的に行われることが理想的であると言える。ラベンダーや赤麦、じゃがいもなどのオーナー制が、各地で取り組みが継続して行われていることは、重要であると考える。また、西神楽の情報拠点の農業者として、直売所・カフェ機能を充実させ、新たな取り組みとする方向性が生まれている。
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う							
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	4	情報拠点・直売所シャングリラパークを「農村カフェMuu」を本格運営	西神楽 夢民村	通年	—	T - 2	
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う							花人街道としての景観を創出させるためには、「花人街道」と呼ばれる特徴でもある「花」の充実が重要であり、これについては毎年、継続して実施している。 花以外にも、花人街道としての景観を形成する要素は様々あり、今年度は道路付属施設に注目して、道路行政とともに現地調査を実施することが出来た。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	5	花の植栽活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽、東川町花俱樂部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会	5月～6月	300名		
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	2	道路付属施設の現地調査に協力	主催:旭川開発建設部 参加:運営委員会	11月・3月	協力:2名		
		沿道の景観阻害要因に対しての修景計画の策定を行う	2	道路付属施設の現地調査に協力	主催:旭川開発建設部 参加:運営委員会	11月・3月	協力:2名		
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う							
活カある地域づくり	地域住民参加への活動を強化する	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部通年)	—	T - 2	地域の活力向上として、各地で様々な取り組みを展開することが出来ている。主に西神楽では「高齢者の安心安全な生活」をテーマとした取り組みも展開されている。しかし、一部の連携にとどまっている活動も多く、地域をより元気にするためには、多様な連携が重要となってきた。そのために、地域での検討をすすめる、ルートとして取り組むべき活動等を明確にし、効果的な地域活力向上を目指すことが次のステップとして求められている。
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	7	情報拠点にてバリアフリーマップや観光パンフレット等を配布	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部通年)	ルート内情報拠点3箇所、上川道の駅約10箇所	T - 2	
			1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	
			8	情報拠点での地域情報発信	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部通年)	—	T - 2	
			9	全道フォトコンテストパネル展示	大雪・富良野ルート	東神楽:9月16日～10月3日 旭川合同庁舎:10月中旬	全3箇所	T - 3	
			★16	冬季集住 高齢者サービスの検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月	冬期集住:8名	T - 4	
			★17	地域高齢者向けお弁当の開発	西神楽夢民村	8月～3月	検討会10名	T - 5	
			11	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月12日～13日		T - 6	
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	地域の方が広く参加する「ゴミゼロ」や「ふらのびえい」になるキャンペーンを通して、地域の方の参加意識を醸成すること出来ている。また、今年度は今後のルート観光を考えるため着地型観光のセミナーを開催し、観光関係者の参加意識醸成を行った。 地域以外の観光客や他地域住民においては、フォトコンテストなどのパネル展を実施することで、ルートの魅力をわかりやすく伝えることができ、ルートへの参加意識・連携意識も醸成することが出来ている。
			11	全道フォトコンテストパネル展示	大雪・富良野ルート	東神楽:9月16日～10月3日 旭川合同庁舎:10月中旬	全3箇所	T - 3	
			★22	着地型観光の勉強会を開催	大雪・富良野ルートサポートセンタ	3月5日 上富良野	15名		
			1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:大雪・富良野ルート 代表 山崎 博幸						2011/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域づくり	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	12	ふらの・びえい人になるキャンペーン	冬の美瑛・富良野の観光を考える実行委員会	通年			農業と観光の連携による地域づくりは、農業団体が平成18年より参加したことで、より具体的な取り組みを展開することが出来ている。農業団体が運営する情報拠点の充実により、農産物と観光を繋ぐ具体的な取り組みが展開されている。農業団体「夢民村」では、自身の農地を都市部住民に貸し出し、米や野菜づくりサポートする取り組みを行い、都市と農村との交流を目指した具体的な取り組みも展開されている。観光業と農業との連携は充実してきているが、商業についてはまだ不足しているところがあり、今後連携の充実を図る。
		安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	13	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		T - 2	
		農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する	14	休耕地を活用した農地オーナーの試験実施	西神楽 夢民村	8月上旬～10月	約5名		
		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	約200人	T - 1	
			★16	冬季集住 高齢者サービスの検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月	冬期集住:8名	T - 4	
			15	上富良野産の農産畜産物をつかった加工品・商品の検討	237花倶楽部	通年	—		
		多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	★16	冬季集住 高齢者サービスの検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月	冬期集住:8名	T - 4	
			11	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月12日～13日		T - 6	
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める	18	旭岳の管理	大雪山自然学校(NPO法人ねおす)	5月～11月	—		地域の自然や文化の保全に関する取り組みは、一部の活動団体の取り組みが大半であり、ルート全体として一体となった取り組みへの展開は、まだまだ不足している。ルート内の課題としては、特定外来種の駆除活動などとなり、ルート活動への展開も検討する。 世界全体としても、地球環境の保全が話題となっており、ルートとしても地域で出来る自然や文化の保全・活用を推進する。
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する							
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る							
		地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	19	子供向けの自然教室を実施	大雪山自然学校(NPO法人ねおす)	通年	—		
			20	ウィンターサーカスと連携した雪の授業を開催	ウィンターサーカス実行委員会	西神楽:1月31日 上富良野:2月12日	約40名	T - 7	
		シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う							
観光振興	ユニバーサルデザインの推進	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	21	ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点の設置・運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター	5月～11月	—		情報拠点にてユニバーサルデザインの「ユニカッブ」の販売・PRを実施するとともに、北西の丘の情報拠点では、内部の写真展示自体がユニバーサルデザインに配慮されている。今後は、外国人旅行者も利用しやすいユニバーサルデザインを考える必要がある。
		田園型リラクゼーション観光を充実させる	11	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月12日～13日		T - 6	新たな冬期観光活性化「ウィンターサーカス」を開催し、今年度で6回目となり、今年は新たに東神楽でも展開した。毎年、開催会場が増加するにつれ、参加者も増加し、観光の充実が図れている。また、情報拠点も定着しつつあり、利用者も増加傾向にある。今後は形になりつつあるルート観光の展開として、着地型観光の取り組みも検討したい。
	田園型リラクゼーション観光の充実	もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部通年)		T - 2	
			★22	着地型観光の勉強会を開催	大雪・富良野ルートサポートセンタ	3月5日 上富良野	15名		
	観光振興	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	13	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月			農業と連携した観光の仕組みとしては、情報拠点を中心にした取り組みが主となっている。特に西神楽での取り組みが活発であり、今年度は地域の「食環境」を把握するアンケート調査を実施し、地域としての情報拠点のあり方を検討するとともに、新たに地域高齢者への支援を考えた取り組みも実施している。地域は良質な農産物がたくさん生産できることもあり、地域の特産品開発については、上富良野
			13	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月			
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	★17	地域高齢者向けお弁当の開発	西神楽夢民村	8月～3月	検討会10名	T - 5	
			6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部通年)		T - 2	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:大雪・富良野ルート 代表 山崎 博幸						2011/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	★16	冬季集住 高齢者サービスの検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月	冬期集住:8名	T - 4	で実施しており、実際に「カレールー」を商品化し、今年から販売する。ラベンダーや赤麦、じゃがいもなどのオーナー制が、継続的に行われており、地域農業と観光をつなぐ取り組みとなっている。
			★17	地域高齢者向けお弁当の開発	西神楽夢民村	8月～3月	検討会10名	T - 5	
			3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	適年			
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンターかみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (一部適年)		T - 2	ルート運営では、ルート活動資金の獲得のためルート法人が補助や助成の申請を積極に行っているが、まだまだ、専任のスタッフの雇用などには至っていない。今後も、ルート活動推進を目的に、体制づくり・人づくりを進めていく。
				シーニック情報中核機能を充実させる					

大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン

【概要】平成17年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成22年度で6回目の開催。毎年、4月下旬から5月30日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施している。毎年約200人以上が関わっている。

【日時】西神楽：4月25日（日）、上富良野町：5月9日（日）

【場所】西神楽、上富良野 国道237号沿道

【主催】大雪・富良野ルート

【参加人数】約200人



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：情報拠点

- 【概要】西神楽・美瑛・上富良野の全3箇所にシーニック情報拠点を開設。各地では、大雪・富良野ルート内のパンフレット等の配布のほか、地元の農産物のPRなどそれぞれ特徴的なサービスやビジネスを展開。西神楽の情報拠点では、地元農産物（夢民村）のレストランや直売を行っており、情報拠点のコミュニティビジネスとしても、可能性が見えてきている。
- 【日時】通年
- 【場所】西神楽、美瑛（北西の丘）、上富良野（見晴台公園）
- 【主催】西神楽：夢民村、美瑛：循環型社会立案サポートセンター、上富良野：かみふらの十勝岳観光協会



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：全道ルートフォトコンテスト

【概要】シーニックバイウェイ北海道の全道各ルートで開催されているフォトコンテストの認知度向上及び各ルートの魅力PRを目的に、大雪・富良野ルート内の東神楽町メモリアルホールにて、全道各ルートで開催されたフォトコンテストの入選作品展を開催。入選作品展開催にあたり全道各ルートの協力を得て、各地で開催されているフォトコンテスト作品を集めるとともに、ルート運営行政連絡会議（旭川開建・東神楽町）より展示会場の提供や作品展示の協力などの支援受けた。

【日時】東神楽：9月16日（土）～10月3日（日） 旭川開建：10月中旬

【場所】東神楽町メモリアルホール、旭川開発建設部

【主催】大雪・富良野ルート



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：冬季集住 高齢者サービスの検討

- 【概要】 地域高齢者が「健康」を維持し、西神楽地域に住み続けることが出来るように、医学的根拠に基づき健康維持を目的とした「運動」と「食」の複合的なメニューを開発する。なお実証実験として、冬季集住を実施し、医学的な根拠に基づいた計測を行った。
- 【日時】 集住期間（女性：1月17日～2月10日 男性：2月15日～2月25日）
- 【場所】 旭川市西神楽
- 【主催】 NPO法人グラウンドワーク西神楽
- 【参加人数】 集住者 女性：4名・男性：4名



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：地域高齢者向けお弁当の開発

【概要】 高齢化が進行する西神楽地域において、健康維持・予防医療の重要なポイントである「食」に関する支援を、地域の生産者（農業者）として提供することで、高齢となっても住み続けることが出来る地域環境が整うとともに、地域生産物の消費拡大により、西神楽の主要産業である「農業」の維持・地域コミュニティの発展に寄与することを目的に地域高齢者向けのお弁当を開発。

【日時】 10月～3月

【場所】 旭川市西神楽

【主催】 農業生産法人 有限会社西神楽夢民村



日付	平成23年1月17日（月）【昼食】	＜栄養詳細＞		
名称	鶏照り焼き弁当	エネルギー	682	kcal
内容	・ ご飯150g（自炊飯） ・ 鶏胸とり照り焼 ・ 茹で野菜 ・ ポテトコロッケ ・ 筍の土佐煮 ・ きゅうりの漬物 ・ キウイフルーツ	蛋白質	28.1	g
		脂質	11.4	g
		炭水化物	97.3	g
		繊維	4.1	g
		カルシウム	56	mg
		鉄	1.7	mg
		ビタミンB1	0.19	mg
		ビタミンB2	0.22	mg
		ビタミンC	42	mg
		塩分	4.5	g
		コレステロール	81	mg



日付	平成23年1月17日（月）【夕食】	＜栄養詳細＞		
名称	焼き魚弁当（鮭）	エネルギー	522	kcal
内容	・ ご飯150g（自炊飯） ・ 紅鮭 ・ 鶏団子 ・ 菜豆サラダ ・ サツマイモの煮物 ・ 大根サワー漬け ・ きゅうりの酢の物 ・ グレープフルーツ	蛋白質	21.8	g
		脂質	7	g
		炭水化物	79.7	g
		繊維	0.7	g
		カルシウム	87	mg
		鉄	1.9	mg
		ビタミンB1	0.28	mg
		ビタミンB2	0.26	mg
		ビタミンC	30	mg
		塩分	2.8	g
		コレステロール	58	mg

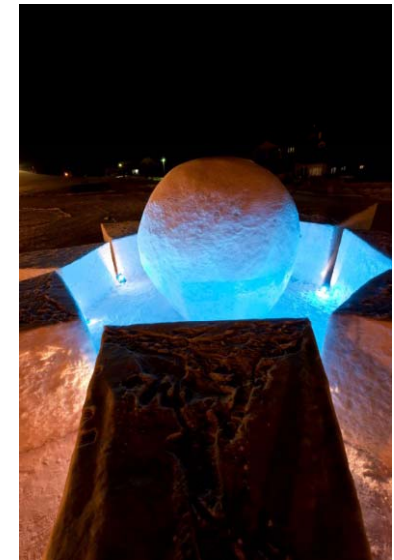


大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：ウィンターサーカスの開催

- 【概要】 第6回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を開催。今回は、東神楽町とも連携し、ルート内6会場・高速道路会場1会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行い、旭川発着の無料バスツアーや札幌発着のバスツアーなどを実施した。
- 【日時】 2月12日～13日 17:00～20:00
- 【場所】 旭川市西神楽、東神楽、美瑛町 上富良野町（2会場）、占冠村、道央自動車道砂川SA
- 【主催】 シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会
- 【参加人数】 とりまとめ中



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：ウィンターサーカスと連携した雪の授業を開催

【概要】西神楽ではじまり今年で6年目を迎える冬を楽しむアートプロジェクト“ウィンターサーカス2011”（ランドアート制作）とあわせ、北海道の地域資源である雪をテーマとした“学び”と“アート”を実践するワークショップを開催。ワークショップで制作したアート作品を“雪のアート展”と題し展示する。

【日時】西神楽：1月31日 上富良野：2月12日

【場所】西神楽聖和小学校、上富良野（募集型）

【主催】

【参加人数】西神楽：20人 上富良野：24人



大雪・富良野ルート

Taisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：着地型観光の勉強会を開催

【概要】 「寄り道観光から着地型観光実践へ北海道富良野盆地で考える」をテーマに、名鉄観光サービスの野竹氏を講師に、これからの大雪・富良野ルートの観光を考えるセミナーを開催した。これからの地域観光の中心となる「着地型観光」の取り組みに向けて一歩となるセミナーであった。

【日時】 3月6日 10:00~12:00

【場所】 上富良野町セントラルプラザ

【主催】 大雪・富良野ルート

【参加人数】 15人



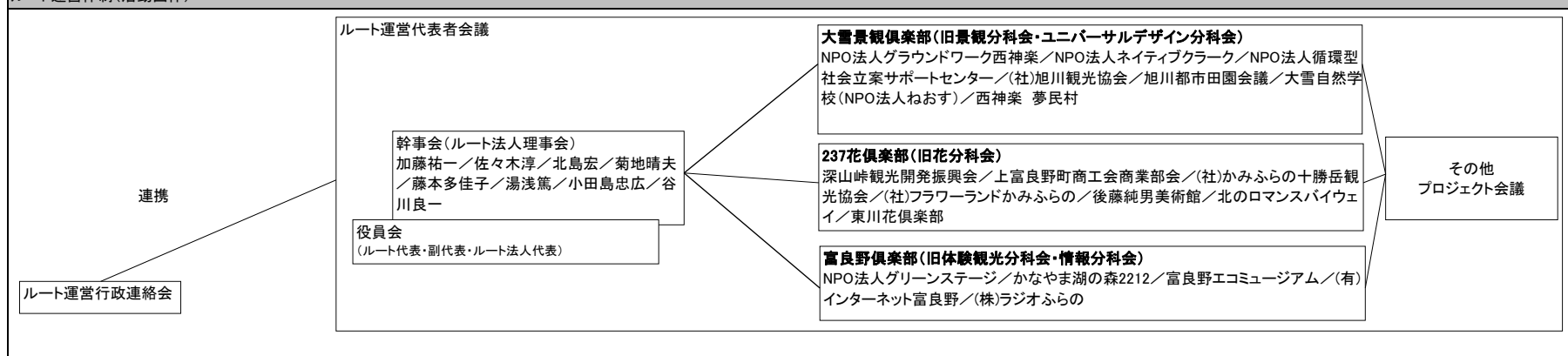
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 大雪・富良野ルート	報告者: 大雪・富良野ルート 代表 山崎 博幸	報告年月: 2011/3/31
------------------	-------------------------	-----------------

活動団体

NPO法人グラウンドワーク西神楽／NPO法人ネイティブクラーク／NPO法人循環型社会立案サポートセンター／深山峠観光開発振興会／上富良野町商工会商業部会／NPO法人グリーンステージ／(社)かみふらの十勝岳観光協会／(社)フラワーズかみふらのの／かなやま湖の森2212／富良野エコミュージアム／(有)インターネット富良野／北のロマンスバイウェイ／東川花倶楽部／(社)旭川観光協会／(株)ラジオふらのの／旭川都市田園会議／後藤純男美術館／大雪自然学校
(NPO法人ねおす)／西神楽 夢見村 全19団体

ルート運営体制(活動団体)



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			● 6/29										ルート法人がルートの運営を担っており、ウィンターサーカスなど、ルート活動費の捻出を行っている。しかし、活動計画の推進・活動の継続については、今後も費用を含め課題がある。各地域の会議については、開催状況に差があり、代表者会議についても、開催回数が多いとは言えない。協議の場を増やすように、運営を行う。
	役員会			● 6/29				● 10/5						
	運営委員会			● 6/29				● 10/5						
	大雪景観倶楽部													
	237花倶楽部	● 4/30							● 11/5	● 12/6				
	富良野倶楽部								● 11/19				● 3/4、3/18	
	その他 ●ウィンターサーカス 会議								ウィンターサーカス会議● 10/5	ウィンターサーカス会議● 11/5	ウィンターサーカス会議● 12/6	ウィンターサーカス会議● 1/24		

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2011/3/31
-----------------	-------------	----------------

[illegible]

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:●●ルート		報告者:●●開発建設部		報告年月:2011/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	道路付属物の集約・配置替え、樹木の剪定	通年	旭川開発建設部	ルート内の景観に配慮した、標識の集約・小型化、設置数の改善、デザイン、色の統一を実施。今後も継続した検討と実施が必要。	道路行政として実施できる取り組み、関係機関との協働で行う取り組みなどを整理し、活動を推進する。また、代表者会議との情報共有・連携強化を推進する。	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	西神楽:4月25日(日) 上富良野町:5月9日(日)	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・東川町・上富良野町	ゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理を実施。清掃活動も参加した。ゴミゼロキャンペーンへの総参加人数は、200人を超える取り組みとなった。さらに広域への展開を検討し、地域と連携し取り組みを推進する。	地域への支援を継続的に行うとともに充実できる部分についても検討する。また、関係機関との連携を強化し、広がりを持たせるように工夫する。	
		国道及び線路周辺の除草活動開始に向けた支援	12月10日	旭川開発建設部・JR北海道	ルート内の西神楽地域において、地域の住民等が除草活動を計画。H23年度からの実施に向け、関係機関と協議を行った。実施にあたっては、再度、調整が必要である。	JR鉄道線路周辺作業は危険が伴うため十分な事前協議が必要。	
	花人街道としての景観を整える	花の植栽活動への苗の提供などの支援	5月～6月	旭川開発建設部・東川町・上富良野町	沿道の花植栽への協力として、花の苗などの提供、活動への参加を行った。花植栽により、良好な沿道環境を保つことが出来、来訪者からも好評であった。今後は、地域との連携を強化し、継続した取り組みに向けての検討などを行う。	支援の継続を検討・実施するとともに、花の植栽を行っている団体でルートに参加していない団体へは、シーニックバイウェイなどの情報共有などを行い、ルート活動の推進も同時に行う。	
地域づくり	活力ある地域づくり	ウィンターサーカスのランドアート制作協力	2月12日(土)～13日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	ウィンターサーカスへの協力として、ランドアートに使用する雪の提供や会場周辺の除雪などの支援を行い、スムーズに活動を実施することが出来た	協力機関や参加団体が増えていることもあり、意志統一・情報共有が課題となっている部分もある。支援については継続的に行えるように検討するとともに、全体としての仕組みづくりを推進する。	
		ウィンターサーカスと連携した雪の授業への協力	西神楽:1月31日 上富良野:2月12日	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・上富良野町	雪の授業として取り組みへの参加や関係への調整等を行うことで、地域イベントへより多くの方が、参加することが出来た。		
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	フォトコンテストのパネル展開催協力	東神楽:9月16日～10月3日／旭川合同庁舎:10月中旬	旭川開発建設部・東神楽町	フォトコンテストの入選作品展を、旭川合同庁舎と東川町のコミュニティ施設で実施。多くの方に、フォトコンテストをPRすることが出来た。	広く様々な方が参加できるように、情報発信を強化する。	
		シーニックバイウェイパネル展の開催	1月～2月	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	シーニックバイウェイの活動紹介等のパネル展をルート内の市町村、道の駅にて巡回で行った。PRを多様な方々へ拡大することが出来た。巡回パネル展の日数、回数や規模の拡大をすることを検討する。		
	地域づくり	ウィンターサーカスのパネル巡回展を実施	1月18日～2月13日	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	ウィンターサーカスのPRパネル展を、旭川市役所、富良野市役所、東神楽町役場、中富良野町役場、道の駅ひがしかわ道草館、道の駅びえい丘のくら、道の駅南ふらの、道の駅自然体感しむかつぶ、フラノマルシェ、上富良野町社会教育センター上川総合振興局、旭川開発建設部で開催し、多くの方にウィンターサーカスをPR出来た。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:●●ルート		報告者:●●開発建設部		報告年月:2011/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウィンターサーカスへのプロジェクター貸し出しなどの支援	2月12日(土)～13日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	雪のランドアートの投影するプロジェクターなどの貸し出しを行った。プロジェクターの貸し出しやイベントへの参加など、できる範囲の支援を行うことで連携体制が強化された。	地域の連携がより多様になるように、関係機関等との情報共有と連携推進に努める。	
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進					具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	
	ユニバーサルデザインの推進					バリアフリーマップの普及に向けて、道の駅などの関係機関に配布を行った。これにより、地域のバリアフリー状況を共有することが出来た。今後は具体の取り組み展開についても地域と協働で検討する。	
	田園型リラクゼーション観光の充実					具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	
観光	農業と連携した観光のしくみづくり					地域活動については連携・協働・支援を実施するとともに、地域の中枢機関である法人について、ルート自立に向けての協力のあり方を検討する。 情報発信についても、地域と協働でより充実した内容を求めて、取り組みを推進する。	
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	情報拠点にパンフレットを提供	通年	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	情報拠点にて大雪・富良野ルートに関係する観光パンフレットを配布するために、情報拠点4箇所に関係市町村等のパンフレットを提供した。各情報拠点では、ルート内各地のパンフレットを扱うことで、広域の観光案内を実施することが出来た。		
		道路情報板を活用したルートPR	通年	旭川開発建設部	道路情報板にシーニックバイウェイ及びルート名を表示。道路利用者の不特定多数にシーニックバイウェイ及びルートのPRを行うこと出来た。		
		ルートHPへのリンクを実施	通年	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	ルートのホームページへのリンクを、各機関のホームページに掲載。ルートのホームページPRに協力した。		
		ルート内の自治体発行広報誌での活動紹介記事作成	1～2月	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	冬期イベントのウィンターサーカスの開催時期に合わせ、ルート内市町村の広報誌に記事掲載を行い、活動PRに協力した。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: ●●ルート	報告者: ●●開発建設部	報告年月: 2011/3/31
--------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		JAF自動車連盟発行の情報誌(道北版)での活動紹介記事作成	1～2月	旭川開発建設部・JAF	冬期イベントのウィンターサーカスの開催時期に合わせ、JAFの広報誌JAFメイトへ掲載を行い、活動PRIに協力した。	道北地区の自動車ユーザーへシーニックバイウェイの活動を紹介できる有効な手段として、今後も活用を図りたい。	

※表中“★”は、H22新規に実施した活動

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:大雪・富良野ルート 代表 山崎 博幸	報告年月:2011/3/31
-----------------	------------------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。	ルート活動の浸透としては、「ウィンターサーカス」をきっかけに、ネクスコ東日本・アルファリゾート・トマムとの連携をはじめ、今年度は、東神楽町と連携し、森の雪あかり会場にてウィンターサーカスを展開することが出来た。また、ウィンターサーカスでは、北海道観光機構のキャンペーンポスターの写真に選ばれるなど、シーニックを広く周知し、浸透することに寄与した。支援センター発行の「Byway」や北海道新聞社のウェブにて、今まで取りあげることが少なかった地域や資源を掲載することで、今まで活動や連携が薄い地域・団体との関係を築ききっかけとなった。 例年より継続している沿道の清掃活動「ゴミゼロ」や「花植栽」については、参加人数も安定し、毎年多くの方が参加し、ルートの取り組みとして実施している。 具体的な取り組みを通して、今後もルート活動に参加する人が増加し、人材についても育成されることを期待している。	

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2011/3/31
-----------------	-------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。	ルート自立に向けての支援として地域活動に関する助成事業・補助金に関する情報提供や申請書作成時の指導・アドバイスを地域団体及びルート法人に昨年度に続き行った。 また、ウィンターサーカスをはじめ、地域活動等の積極的なPRを関係自治体やメディア関係者に行った。これにより、ウィンターサーカスをはじめ、情報拠点などの取り組みの活動資金獲得することができるとともに、新しい連携が促進され、ルート全体に広く関係する活動が推進できている。 地域に助成事業や補助金の情報提供を継続的に行うことで、昨年度より地域団体の意識が向上し、自らが応募申請を行いようになりつつあり、特に西神楽地域・上富良野地域においては、積極的な姿勢が見ることが出来る。 ルートに関わる多くに方に、活動や資金獲得のノウハウが蓄積できるように、地域団体同士の交流・情報共有以外にも、専門家を招いての勉強会など、地域のニーズ・成長に合わせて、プログラムを組むことが重要であり、今後はルート自立・人材育成に向けてのルート独自のプログラムづくりを行う。	